

分科会開催報告書

報告日 平成29年 12月 1日	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第114回浮雲俳句会
開催日時 平成29年 11月 26日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 金沢地区センター小会議室
参加人数 “わ”の会会員	男11名 女6名 合計17名 欠席者0名

実施内容

第114回例会は、兼題①クルーザー②初冬の植物、他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、片岡三洋会員による選句の披講の後、北野主宰から天・地・人賞及び、特選5句、佳作9句の発表と、夫々の句についての論評があった。

天賞句	革ジャンを粋に着こなす准教授	勇 平
地賞句	友耄け無情を知るや冬の月	重 九
人賞句	骨董店ゴッホの偽絵冬薔薇	三 洋
特選句	冬の水脈白き富士曳くクルーザー	和 女
	冬うらら借り切って乗るクルーザー	一 馬
	忘れ物今来たこの道帰り花	あきえ
	濡れ落ち葉滑る子らたち下校道	一 柧
	寄せ鍋の煮立ちうからの國訛り	十 九

主宰の指導

季語を選ぶには、浮雲俳句会の開催日の時期に合うかどうか、吟味すること。又、大自然から感動を受け、その感動を明記する句を期待する。

会員高点句

10点句	カフェオレ両手に包む今朝の冬	祥 代
7点句	まだ一人合掌とかぬしぐれ寺	一 清
6点句	寄せ鍋の煮立ちうからの國訛り	十 九

次回の予定

平成29年12月24日(日) 午前9時30分～午前11時30分

能見台地区センター多目的室A-第115回兼題①客船②仲冬の植物。他に当季雑詠2句。披講兒玉國眼会員